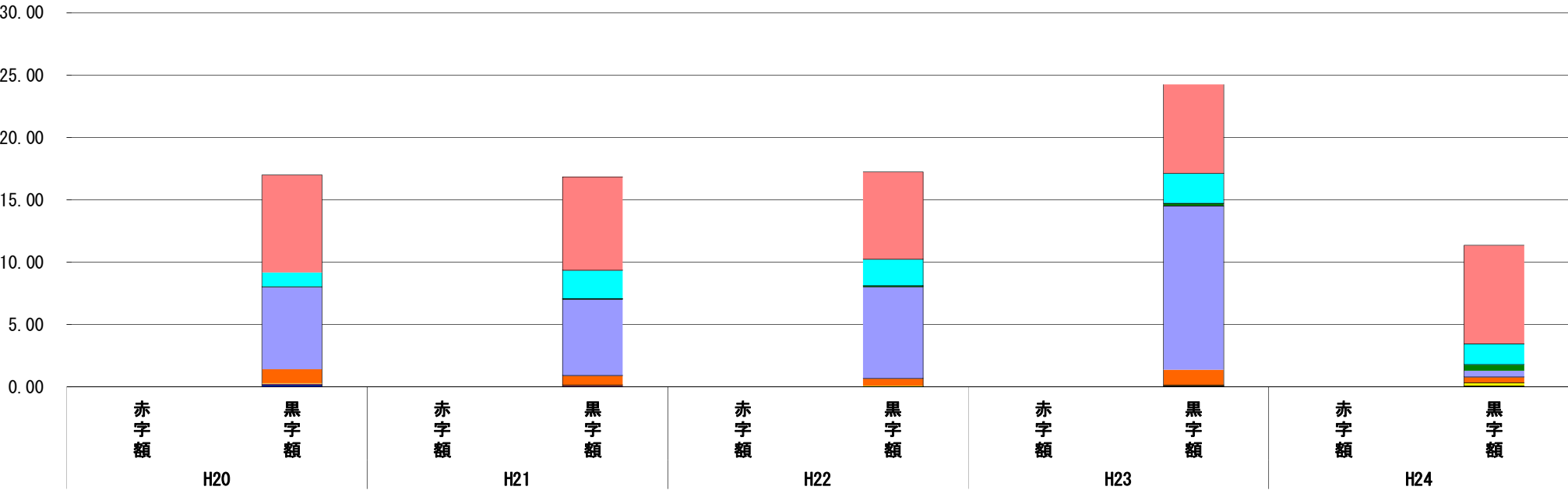


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

宮城県大郷町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H20	H21	H22	H23	H24
会計						
水道事業会計		7.80	7.50	7.00	7.14	7.90
国民健康保険特別会計		1.12	2.27	2.13	2.41	1.66
下水道事業特別会計		0.02	0.05	0.06	0.19	0.51
一般会計		6.62	6.13	7.37	13.15	0.51
介護保険特別会計		1.12	0.75	0.56	1.23	0.46
農業集落排水事業特別会計		0.06	0.04	0.06	0.06	0.23
戸別合併処理浄化槽特別会計		0.07	0.07	0.02	0.06	0.05
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.02	0.03	0.03	0.04
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.16	0.02	0.00	-	-

分析欄

連結実質赤字比率については、算定開始以来、一般会計、公営企業会計及び各種特別会計において、赤字額を計上したことはない。

各種特別会計の標準財政規模比を見ると、いずれも3%以下の比率で大きな動きは見られないが、一般会計からの繰り入れによって、かるうじて健全化を保っている状況で、最終的には一般会計の財政を圧迫することになっている。

一般会計においては、平成23・24年度で数値の動きが大きいが、繰越事業の増など東日本大震災関連事業の与える影響が主な要因で、震災関連事業が一段落すれば、22年度以前の数値になると推測される。

今後は、一般会計においては新たな自主財源確保のため、企業誘致を積極的に推進するとともに、定住促進による人口増や、町税の徴収強化による歳入確保に努める必要がある。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。